

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		公民館読み聞かせ事業						事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	020201000619
政策体系上の位置付け								単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名		0202	生涯学習・芸術文化活動の推進				主要事業			
	政策名		02	生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト			
	施策名		02	生涯学習・芸術文化活動の推進				未来PJ事業		グループ	公民館G
	手段名		01	①自主的な活動の支援と学習機会の提供				合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し		(年度～)	
	01	10	05	02	03	00	公民館管理事業（大）	 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 公民館において、ポスターを作製し、保育所・幼稚園児・小学校低学年に配布、読み聞かせボランティアが月1回実施している。 ・日程 月1回第4土曜日 午後2時～3時30分 ・内容 絵本の読み聞かせ・紙芝居・ゲーム等	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 毎月「おはなしのひろば」「おはなしの小箱」「読み聞かせの会たんぽぽ」の原稿・ポスター作り(チラシ)の印刷・各小中学校への配布・館内掲示・アンケートの集計 報償費の支払

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
云 場：石瀬公民館・大和公民館 実施日：毎月第4土曜日午後2時～午後3時30分 会 場：真壁伝承館 実施日：毎月第4土曜日午前11時～午前11時30分 内 容：絵本、紙芝居の読み聞かせや手遊び等	実施回数	回	10.00	33.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
岩瀬・大和・真壁地区の幼児・小学校低学年児童	保育所・幼稚園児数	人	841.00	1,069.00	1,014.00	0.00	0.00
	小学校低学年児童数	人	682.00	568.00	611.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
本に親しむきっかけとなり、本を通して親子のふれあい、地域との交流が図られる	「本に親しむきっかけとなった」と答えた率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)				期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			0
			県支出金	千円	0	0	0			0
			地方債	千円	0	0	0			0
			使用料・手数料	千円	0	0	0			0
			その他	千円	0	0	0			0
			一般財源	千円	60	60	60			0
			事業費計（A）	千円	60	60	60			0
	人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人				
		述べ業務時間	時間	34.05	34.05	34.00				
		人件費計（B）	千円	100	100	99				
トータルコスト(A)+(B)			千円	160	160	159				

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)			
	19 負担金補助及び交付金	60		19 負担金補助及び交付金	60		
			合 計	60		合 計	60

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容

31年度の事業内容

32年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	公民館読み聞かせ事業	事務事業No.	20201000619	所属課	生涯学習課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
子どもたちの活字離れが叫ばれ始め、本に親しみを持ってもらうために始まった。保護者及び子どもたちも、参加する意欲が出てきているし、読書が好きになってきている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
月に1回の読み聞かせを楽しみにしている。また、子どもの親同士のコミュニケーションを図ることができる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	☒ 結びついている 政策体系の豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	☒ 妥当である 本を読む人口が増え、読書推進につながる
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	☒ 向上余地がある 乳幼児だけへの読み聞かせではなく、0～1歳、2～3歳、4～5歳といった年齢にあった読み聞かせが必要。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	☒ 影響有 子どもたちの本に対する興味が希薄となる。また、地域と子ども達との交流機会がなくなる。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 類似事業はあるが、読み聞かせを主としての活動はないため、統廃合や連携は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
公平性	☒ 削減余地がない ボランティアによる事業であるため削減できない
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
☒ 公正・公平である 無償で行っているため、公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	乳幼児が本への興味を示すように、今後もボランティアの方々の協力を得ながら継続をしていく。また、年齢層にあった読み聞かせを検討する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☒ 現状維持		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	③																					
		コスト削減優先度評価結果	⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☐ A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐